

三浦一馬

バンドネオン・シネマ 2026



西江 辰郎
ヴァイオリン

佐久間 聡一
ヴァイオリン

生野 正樹
ヴィオラ

奥泉 貴圭
チェロ

高橋 洋太
コントラバス

山田 武彦
ピアノ

2026. 5. 23 [土] 14:00 開演
13:30 開場

市川市文化会館 小ホール

〒272-0025 千葉県市川市大和田1-1-5

チケット好評発売中

プレミアムシート ※良席・ポストカード付き 5,000円 (税込)

A席 3,500円 (税込)

主催: 株式会社Moon 共催: 市川市文化振興財団

制作協力: Co One Degree株式会社

Program

映画「マイ・フェア・レディ」 踊り明かそう／フレデリック・ロウ

映画「ひまわり」 ひまわり／ヘンリー・マンシーニ

映画「酒とバラの日々」 酒とバラの日々／ヘンリー・マンシーニ

映画「太陽がいっぱい」 太陽がいっぱい／ニーノ・ロータ

映画「ゴッドファーザー」 愛のテーマ／ニーノ・ロータ

映画「道」 道／ニーノ・ロータ

映画「ニュー・シネマ・パラダイス」

ほか ニュー・シネマ・パラダイス／エンニオ・モリコーネ

※曲目は公式サイトをご確認ください。

※都合により曲目・曲順などを変更させていただく場合がございます。

MOON
PRODUCTIONS



三浦 一馬 Kazuma Miura, Bandoneon

2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。2008年10月、イタリアのカステルフィダルドで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・バシュメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。2014年度出光音楽賞受賞。パッサカリアからガーシュウィンまでを編曲・演奏するなど、既成の概念にとらわれない意欲的な取り組みや、バンドネオンの可能性を追求する真摯かつ精力的な活動ぶりが2010年9月NHK「トップランナー」に取り上げられ、再放送となる反響を呼ぶ。テレビやラジオ出演も多数。2017年、ドイツにてドグマ・チェンバーオーケストラとマルコーニ作曲の「カーメラタンゴス」で共演。また自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソリスト」を新たに結成し、さらなる活動の場を拡げている。また、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当するなど若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。最新アルバムはビクターからリリース「バンドネオンシネマ」。使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold。



西江 辰郎 Tatsuo Nishie, Violin

新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター及び、久石譲Future Bandバンドマスター。幼少期より辰巳明子氏に師事し、桐朋学園ソリストデュプロマコース修了。スイスに留学しティボール・ヴァルガ氏に師事。メソッドを継承する。室内楽を安永徹、市野あゆみ各氏に師事。

2001年、仙台フィルのコンサートマスターに抜擢されSPC大賞、セレーノ弦楽四重奏団にて緑の風音楽賞、松尾音楽助成などを受賞。05年より新日本フィルコンサートマスターに就任し、ソリストとしてもクリスティアン・アルミンク、ギュンター・ピヒラー、外山雄三、ダグラス・ポスト、トック、佐渡裕らの指揮のもと国内外のオーケストラと共演。ミッシェル・マイスキー、ジュゼッペ・アンドロロらとの室内楽や各地の音楽祭にも招かれている。マレーシア・フィルやNHK交響楽団にゲスト・コンサートマスターとして出演。

16年「題名のない音楽会」にピアノの上原ひろみとゲスト出演。6弦エレクティック・ヴァイオリンにて久石譲の「室内交響曲」のソリストを務め、世界初演。20年、21年にはHiromi Piano Quintetのメンバーとしてブルーノート東京にて「Save Live Music Returns」に出演。Fuji Rock Festivalへの出演や全国ツアーを行った。ディスコグラフィーも多く、いずれも好評を博している。



奥泉 貴圭 Takayoshi Okuizumi, Cello

札幌出身。東京藝術大学附属音楽高等学校を卒業後、ドイツ・トロッシンゲン音楽大学を経て、2007年より2年間バイエルン国立歌劇場の契約団員として研鑽を積む。1998年札幌ジュニアチェロコンクール優秀賞、2004年ピバホールチェロコンクール2位、2006年度文化庁在外研修員。その他、国内外数々のコンクールで入賞。2009年に帰国後、2016年まで上野学園大学講師を歴任。

小澤征爾スイス・インターナショナルアカデミー、小澤征爾音楽塾オーケストラ、サイトウキネン室内楽勉強会、水戸室内管弦楽団、紀尾井シンフォニエッタ、東京・春・音楽祭、石田組、高嶋ちさ子 with Super Cellists、めざましクラシックスなどに参加。

現在はソロ、オーケストラ客演首席、室内楽、レコーディング、TV出演、ライブサポート、トリオAXIS(弦楽三重奏)・福井ハーモニーホール・レジデントトリオとして国内各地で活動中。



高橋 洋太 Yota Takahashi, Contrabass

桐朋学園大学、同研究科修了と同時に2006年東京都交響楽団に入団。2005年青森市民文化顕彰受賞。

バンドネオン奏者三浦一馬氏率いる五重奏団、東京グランド・ソリスト、久石譲氏プロデュース、FutureOrchestraClassics等に参加する他、セイジ・オザワ松本フェスティバルはじめ各地の音楽祭に毎年参加している。

オーケストラ、室内楽、ソロ、エレキベースの演奏、テレビ朝日「題名のない音楽会」Eテレ「みつけた」等に出演する他、雑誌「Tarzan」にて音楽家としての身体のメンテナンスを紹介するなど、その活動は多岐に渡る。2022年コントラバスでは初録音となるピアソラ作曲の「タンゴの歴史」を収録した自身のアルバムをリリースする。2025年より故郷青森県で始まった「青い海と森の音楽祭」では芸術総監督補佐・音楽主幹補佐を務める。



佐久間 聡一 Soichi Sakuma, Violin

4才からヴァイオリンをはじめ、桐朋学園大卒業。後にドイツのハノーファーで学ぶ。新日本フィル契約団員、大阪フィル首席奏者、ドイツ・カンマーフィルハーモニー・プレーメン客演奏者、広島交響楽団の第1コンサートマスターをつとめた。現在は、ソリスト、室内楽奏者、客演コンサートマスターとして多彩な活動で活躍の幅を広げている。

「その魅力的な音色で聴衆を一つにする力がある奏者(音楽の友)など、誌上でもたびたび注目を浴びている。CDも数多く、好評販売中。また、YouTubeの〈愉快なヴァイオリン教室サロン・フリッツ〉では楽しみながら学ぶ番組作りで多くの音楽愛好家人気を博している。(チャンネル登録者1.5万人超) 第21弦楽四重奏団、石田組の組員、弦楽トリオAXIS、ピアノトリオMIYABI、デュオでゆめのメンバーとしても活動中。洗足学園音楽大学の非常勤講師。



生野 正樹 Masaki Shono, Viola

1978年大分県出身。14歳よりヴィオラを始め、大分県立芸術緑丘高校を経て、洗足学園音楽大学を首席で卒業、同大学大学院修了。内田博、岡田伸夫の各氏に師事。ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクールにて第2位入賞。日本演奏連盟のオーディションに合格、九州交響楽団と共演。2019年天皇陛下即位祝賀式典のオーケストラにてソロヴィオラ奏者を務めた。

「音楽の友クラシック・ベストテン2024にて好きな日本人器楽奏者第7位に選ばれる。現在、埼玉県でのコンサート企画、アウトリーチ(小学校や福祉施設での演奏)に力を入れている。神奈川フィル、新日本フィル、東京シティアフィル、京都市交響楽団など全国の主要オーケストラに客演首席として参加、また葉加瀬太郎ツアーなど様々なジャンルのコンサート、レコーディングに参加している。石田組、トリオAXIS、第21弦楽四重奏団、RENTARO室内オーケストラ九州ソロ首席奏者。2025年4月より東松山市民文化センター音楽アドバイザーに就任。



山田 武彦 Takehiko Yamada, Piano

東京藝術大学大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞(プルミエ・プリ)を得て卒業。フランスの演奏団体であるe2m、Lititenaire、Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。

またフランス北部のランス市において大戦後50周年記念式典のために、ヘブライ語による委嘱作品を発表。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。最近では、三浦一馬キネテート、東京グランド・ソリスト(TGS)などユニークなコンサートの企画にも参加している。東京藝術大学招聘教授を経て現在同大学ソルフェージュ分野主任、洗足学園音楽大学客員教授。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ教育連盟会員。

料金 [全席指定]

プレミアムシート 5,000円 ※良席・ポストカード付き

A席 3,500円

※未就学児入場不可

※車椅子席をご希望のお客様は、必ず公演の2営業日前までに MITT TICKETにてお電話でチケットをご購入いただきますようお願い申し上げます。お連れ様をご鑑賞される場合もチケットは必要です。

チケット販売開始

2026年2月8日(日) 10:00~

お問い合わせ

Mitt

03-6265-3201(平日12:00~17:00)

チケット取り扱い

- ・ローソンチケット <https://l-tike.com/miura-bandoneon2026/> [Lコード:31545] ※PC/スマートフォン共通
ローソン・ミニストップ店内端末「Loppi」にて一般発売日以降直接購入可能
- ・チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/miura-bandoneon2026/> [Pコード:319-888] ※PC/スマートフォン共通
セブン-イレブン店内端末マルチコピー機にて一般発売日以降直接購入可能
- ・イープラス <https://eplus.jp/miura-bandoneon2026/> ※PC/スマートフォン共通
ファミリーマート店内端末にて一般発売日以降直接購入可能
- ・劇場
 - ・ 市川市文化振興財団オンラインサービス 市川市文化振興財団オンラインチケット
HP: <https://www.tekona.net/bunkakaikan/>
 - ・ 市川市文化会館: 047-379-5111
 - ・ 行徳文化ホール&l: 047-701-3011
 - ・ 木内ギャラリー: 047-371-4916
 - ・ 芳澤ガーデンギャラリー: 047-374-7687
- ・ MITT TICKET 03-6265-3201(平日12:00~17:00)

市川市文化会館 小ホール

〒272-0025 千葉県市川市大和田1-1-5 TEL: 047-379-5111

【電車】・ JR総武線本八幡駅南口より徒歩10分 ・ 京成線京成八幡駅より徒歩15分

・ 都営新宿線本八幡駅A3出口より徒歩10分

【バス】・ 市川駅南口より[市川01]本八幡駅行のバス「文化会館前」下車

・ 行徳方面からお越しの方は、本八幡駅行のバス「文化会館前」下車